

コミケピギナーのための 超・速・解 アドバイス

ComiNavi



令和元年、いよいよ会場形態が激変する時がやってきました。ビッグサイトに移転して以来、24年ぶりの大変化だけに、何がどうなるか開けてみるまで分かりません。

でもこれは全参加者がコミケットへの参加スタイルやルールを再確認する好機でもあります。

ようこそ、アナタも一緒に作る、新時代のコミケットへ!!

■■全参加者・要認識更新!■■

今回C96は、東京ビッグサイトの使用開始以来となる大規模な会場使用形態の変更及び4日間開催となるのはご存知の通り。24年前の晴海見本市会場から東京ビッグサイトへの移転時と比べても、コミケットの規模ははるかに大きくなり、今や移転を経験した参加者は少数派だろう。加えて初の分離会場、新ホール、そしてリストバンド型入場券の導入と、これら変則の極みのような開催スタイルが、毎年酷暑となる夏コミにやってくるのだ。たとえ何のトラブルも無かったとしても、4日間のその1日1日が誰にも予測できない非常に特殊な時間となることは間違いない。考えようによっては変則開催となるC96、97、98の中で今回が最も大変だと言えるだろう。

そんな前代未聞のコミケットに臨む参加者に対して言えることは、『とにかく正確な、新しい情報を逐次取得・理解してそれに対する準備を整え、当日に臨もう』ということに尽きる。

アナタがもし、これまでも漠然と『とりあえず行けば何とかなるだろう』というくらいの感覚で参加していたのであれば、少なくとも今夏のC96に関してはその認識を改めて物心両方の準備を万全にして参加することを強く強くオススメしたい。

■長時間行列予報■

これまでビッグサイトでの開催が定常化するに従って、参加者入場の流れも最適化が進み、『始発から並んでも開場後から並びはじめても入場時間に大差がない』『正午以降に来場すれば並ばずに入場できる』ということが定着していた。しかし、会場の使い方が大きく変更される今後3回の開催については残念ながらそのメソッドが通用しない可能性が大きい。これは従来に比べて会場の総面積自体が縮小されているためだ。

面積が狭くなったということは会場内に滞在できる人数が少なくなるということであり、これまでのように、開場以降どんどん会場内に参加者を入れ込んでいくことが難しいだけでなく、もしかすると、**全待機者が入場する前に会場が文字通りの『満員御礼』**となってしまう、**用事を終えて会場を離れる参加者が現れるまで入場することも叶わないという事態さえも有り得るのだ。**

そうなることも考えると（繰り返すが、実際にどうなるのかは当日になるまで全く分からない）これまでの入場テクニックではなく、**確実な入場を求めるなら始発電車以降の早朝から並ぶことが重要な意味を持ってくる。**その場合には待機時間がかなりの長時間となるため、普段のコミケット以上に待機時間中身体のコンディションを維持するための準備と知識が必要になるだろう。

●目的を定めよう

距離の離れた別会場となることから、**サークルスペースと企業ブースの両方を1開催日での参加で見て回るのは非常に困難**と言わざるをえない。カタログなどで事前に欲しい物や行きたいサークルを念入りにチェックし、優先して行きたい場所を明確化しておく必要があるだろう。また、会場以外でも新作入手の機会があるものは見送るなど、会場内での時間の使い方をよく考えるべきだろう。

